

# 特別会計予算の概要

予算額 3,966億円 (前年度比3.3%増)

## 土地区画整理会計

予算10億円

- 篠路駅東口土地区画整理事業の移転補償費の増等により、前年度比 55.7%の増となります。

## 駐車場会計

予算額1.7億円

- 円山公園駐車場使用料の増に伴う一般会計への繰出金の増等により、前年度比 15.4%の増となります。

## 母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額0.4億円

- 公債償還費の減により、前年度比 63.6%の減となります。

## 国民健康保険会計

予算額1,838億円

- 被保険者数の減等により、前年度比 0.6%の減となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金154億円など、総額204億円の繰入を受けます。

## 後期高齢者医療会計

予算額349億円

- 被保険者数の増に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比 12.4%の増となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金68億円など、総額83億円の繰入を受けます。

## 介護保険会計

予算額1,745億円

- サービス利用者の増加等に伴う保険給付費の増等により、前年度比 5.7%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分など、総額273億円の繰入を受けます。
- 基金21億円を活用し、保険料の上昇を抑制し、令和5年度の水準に据え置きます。

## 基金会計

予算額22億円

- 財産貸付収入の減等により前年度比 1.4%の減となります。

# 企業会計予算の概要

予算額 2,927億円 (前年度比7.1%増)



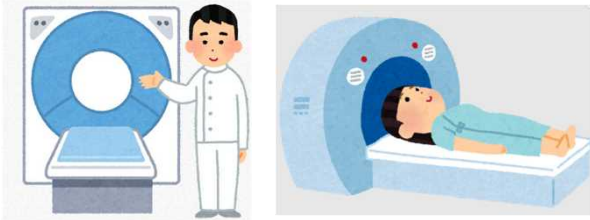
## 病院事業会計

予算額 301億円  
(前年度比 7.1%減)



### 安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備や経年劣化に伴う施設の改修を計画的に行います。



### 経営健全化に向けた取組

新入院患者の受入強化や、経費の削減に取り組み、より健全かつ効率的な病院経営を目指します。

収益的収入	260億円
収益的支出	270億円
差引	▲ 10億円
未処理欠損金	44億円



## 中央卸売市場事業会計

予算額 45億円  
(前年度比 1.7%減)



### 安全で安心な生鮮食料品の供給

生鮮食料品の安定供給を維持できるよう、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。



### 経営基盤の強化

健全な財務体質の下で事業運営を担えるよう、計画的・効率的な事業執行により、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	22.9億円
収益的支出	22.8億円
差引	0.1億円
未処理欠損金	46億円



## 軌道整備事業会計

予算額 42億円  
(前年度比 23.9%増)



### 安全の確保

安全運行の確保のため、計画的な軌道施設の更新を進めます。

### 快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、軌道改良工事などを進めます。

### まちづくりへの貢献

電車事業所の改良を進めるとともに、低床車両の製造等を進めます。

### 経営力の強化

厳しい経営環境を乗り切るため、運送事業者と連携し、必要な財源の確保に努めます。

収益的収入	16.5億円
収益的支出	17.3億円
差引	▲ 0.8億円
未処理欠損金	12億円



## 高速電車事業会計

**予算額 799億円**

(前年度比 8.3%増)



### 安全の確保

老朽化した施設の改修のほか、防災対策として、南北線シェルター耐震改修工事などを進めます。

### 快適なお客さまサービスの提供

お客さまの利便性向上のため、一般旅客用トイレの洋式化などを行います。

### まちづくりへの貢献

都心の再開発に合わせて、混雑緩和のため、南北線さっぽろ駅のホームを増設します。

### 経営力の強化

厳しい経営環境を乗り切るため、乗車料収入だけでなく、附帯事業収入を含めた財源の確保や経費節減に取り組み、経営の効率化に努めます。

収益的収入	508億円
収益的支出	437億円
差引	71億円
未処理欠損金	1,893億円



## 水道事業会計

**予算額 717億円**

(前年度比 3.1%増)

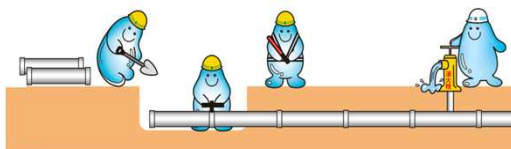


### 安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、配水管の更新や白川浄水場などの施設の更新を進めます。

### 水道施設・水道管の災害対策

災害対策として、浄水場などの施設や配水幹線、災害時重要施設へ向かう配水管の耐震化などの事業を進めます。



### 健全経営の維持に向けた取組

健全経営の維持に向け、必要な財源の確保に努めながら、施設規模の見直しなどの経費節減に取り組みます。

収益的収入	464億円
収益的支出	386億円
差引	78億円
未処理欠損金	なし



## 下水道事業会計

**予算額 1,024億円**

(前年度比 14.2%増)



### 安全なくらしと良好な環境の維持

都心アクセス道路事業に伴う管路移設など、老朽化した下水道施設の改築及び浸水対策等を着実に進めます。

### 環境に与える負荷の低減に向けた取組

下水熱を利用した融雪槽を設置するなど、脱炭素化の取組を進めます。



東部水再生プラザ融雪槽  
(R7年度稼働開始予定)

### 健全経営の持続に向けた取組

コストの縮減等により財務体質の強化を図るとともに、効果的な人材育成等により運営体制の強化を図ります。

収益的収入	529億円
収益的支出	521億円
差引	8億円
未処理欠損金	33億円